

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社広島メタルマシナリー 広製作所

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広白岳1丁目2番43号

(3) 業種

製鋼・鋳鋼業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成18（2006）年度を基準年度とし、平成18（2006）年度から平成27（2015）年度までの10年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成18年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	94,279.6	89,884.1 5.0	112,137.0 ▲ 19.0	86,427.0 8.0	108,653.0 ▲ 15.0	99,935.0 ▲ 6.0	90,329.6 4.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	44.6	0.0 100.0	0.0 100.0	0.0 100.0	0.0 100.0	0.0 100.0	0.0 100.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	94,279.6	89,884.1 5.0	112,137.0 ▲ 19.0	86,427.0 8.0	108,653.0 ▲ 15.0	99,935.0 ▲ 6.0	90,329.6 4.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	エネルギー起源CO <sub>2</sub> は排出量年6%の基準年度比増。 これは生産量の減少が要因である。それにともない電力消費量も下がったが、操業操作よりも 固定電力の消費率が高まり、結果 エネルギー（電力）使用の不効率になった。						

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100      削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成18年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)			198.4	200.9	198.4	194.7	199.3
実績に対する 自己評価							

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100      削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	・ A重油の使用量を100%削減	・ 温室効果ガスの排出の少ない燃料への転換 (H19 重油から都市ガスへ移行済) ・ 低公害車の率先導入済H24より累計5台
2	電気使用量の削減	・ 電気の使用量を2.7%削減	・ 高性能インバータ機器への更新 (H20 15t電気炉の電流調整装置 インバータ化実施済) ・ 高効率照明器具への更新 (H20より累計50基) ・ 休憩時間の消灯の実施強化 ・ 省エネ型自販機の採用 (H27 4台) ・ 冷暖房温度の適正管理 ・ LED蛍光の採用
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	・ コピー用紙使用量を5%削減	・ 両面コピー、裏面利用 ・ 分別収集及び資源化の徹底
2	リサイクル率の向上	・ リサイクル率を5%向上	・ 郵便封筒の社内再利用 ・ リサイクル品の全品回収
3	その他		・ 月1回の敷地外の清掃奉仕活動の実施 ・ 公共交通機関の積極利用

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。